

◆日本共産党は、1世紀の歴史に学び、新たな1世紀に向かいます。戦争させない くらしに希望を

休日当番病・医院

2月4日(日)

- ◆内科 夜間・休日急病センター 旭町 32-0099
- ◆外科 みらい整形外科クリニック 北栄町 53-7100
- ◆歯科 齊藤歯科医院 弥生町 72-5628

診療時間：内科＝9時～翌朝7時、外科＝9時～17時、歯科＝9時～12時。本紙は毎週火曜日に編集のため、その後に休日当番医が変更になってもお知らせすることはできません。ご利用される際には、あらかじめ電話でお確かめください。



法律相談



2月26日(月)

渡辺達生弁護士

(定員になり次第締め切ります)
日本共産党苦小牧地区委員会
吉小牧市見山町2-2-6 申込56-5002

しんぶん赤旗読者のための

日本共産党 民主苦小牧

発行 日本共産党苦小牧地区委員会

吉小牧市見山町2丁目2番6号 電話56-5002 fax 56-5086
日本共産党のホームページ <http://www.jcp.or.jp>
吉小牧市議団ホームページ <http://toma-jcp.sakura.ne.jp/>
eメールアドレス commun@rose.ocn.ne.jp

ラピダス礼賛でいいのか 実効ある経済支援を

畠山・立野氏ら国の出先機関要請

泊原発再稼働に反対



ら、金融支援等の強化と人手不足解消のために中小企業が賃上げできるための実効ある支援を求めました。経産局は、コロナ禍の影響で借金が残っている企業への「別枠融資を含め検討している」と回答。「労務費を価格転嫁しにくいと承知している。労務費の計算方法や資料作成などを助言している」とのべました。

工場建設が始まった次世代半導体生産拠点「ラピダス」(千歳市)について、事業計画や環境影響の情報を把握し、説明責任を果たすよう求めたのに対し、同局は、22～23年度の国支援助額は約8500億円になると明らかにし、「道などと連携し、適切に対応する」との回答にとどまりました。

畠山氏は、本格稼働を見込んだ大量の電力需要のために、泊原発を再稼働することに反対だと表明しました。道地方環境事務所には、ラピダス社の工場から排出が懸念されるPFAS(有機フッ素化合物)などへの対応をた

だしました。事務所側は、「PFASなどについては注視している。企業倒産件数が2023年は前年比35%増となったことから

必要なことは意見していく」と回答。畠山氏は「ラピダスにおける水質モニタリング計画策定に向け、市と連携をとってほしい」と求めました。防衛局に対して、「スタン

ド・オブ・ミサイル」の配備と弾薬庫新設や基地強化の中止、自衛隊が本人同意なく自治体から個人情報提供を

受けていることの中止・見直しを求めました。立野氏が個人情報について、「自治体が提供を拒否したら、何らかのペナルティーがあるのか」と質問。防衛局は、「回答を控える」と含みを持たせました。

その他、労働局には非正規ワーカーの待遇改善など、運輸局にはバス事業者への支援強化、トラック輸送の適正運賃・適正賃金、ライドシェアへの懸念など、農政事務所に、酪農家支援、水田活用交付金見直しへの柔軟な対応など一を要請しました。

ライドシェア認められない 畠山氏 ハイヤー協会と懇談 安全脅かす



ハイヤー協会の鈴木専務と懇談する畠山氏

鈴木康治専務理事が応対し、日本共産党の「経済再生プラン」と、高橋千鶴子衆院議員が昨年11月の衆院国土交通委員会でも取り上げた「ライドシェア」の質問会議録を手渡しました。

ライドシェアとは、「一般的にアプリ等で自家用車・ドライバーと利用者をマッチングさせ、輸送サービスを提供するもの」(斉藤国土交通相)です。自動車の第2種運転免許を持たない一般の運転者が自家用車を使って有償で乗客を運ぶ事業です。

岸田首相は、昨年の臨時国会で、維新の会・馬場伸幸代表の質問に対し、デジタル行

マイナカード強制になる
健康保険証の
廃止強行抗議
日本共産党

革の一環で、「ライドシェアの課題を含め規制、制度の徹底した改革をスピード感を持って取り組む」と表明。地域を限るなどの条件付で4月から一部解禁するとしています。一方、業界団体と労働組合は、無許可の自家用車を活用する「白タク」行為の合法化だと反対しています。

鈴木専務は、性犯罪や事故時の責任など利用者の安全の観点から、「マッチングアプリによるライドシェアは認められない」と強調。2002年の規制緩和で、タクシー車両が大幅に増え、収入・賃金が低下した過当競争を指摘。「これを再燃させてはならない」と警鐘を鳴らしました。

タクシー事業が困難な過疎地域では「国と自治体による支援が必要」と提起しました。畠山氏は、「ライドシェア問題を可視化させ、公共交通機関としてのタクシーへの公的支援を強める方向で取り組んでいきます」と応じました。

畠山氏は24日、国出先の運輸局への要請で、ライドシェア導入について「ハイヤー協会はあくまでも反対」とのこと。タクシーを公共交通に相応しく行政として支援をすべきです」と訴えました。

年金 物価下回る2.7%増

経済スライドで実質削減 厳しさを変わらざる

厚生労働省は1月19日、2024年度の公的年金額について、物価上昇率よりも0.5%下回る2.7%増とし、実質削減する方針を明らかにしました。物価よりも低い賃金の伸び率で改定し、さらに削る「マクロ経済スライド」を2年連続で発動するためです。

厚生年金の夫婦2人モデル世帯では、物価上昇に見合った引き上げの場合、月23万1665円となる計算です。しかし、同スライドの発動など、23万483円に減額されることとなります。

年金額は、直近1年間の「物価」と過去3年度分の「賃金」の変動率をもとに毎年度改定されます。24年度の改定の指標となる変動率は、23年の物価が3.2%増で、2022年度の賃金が3.1%増でした。

マクロ経済スライドは、「将来世代の年金の給付水準を確保するため」として、年金額の改定率を物価や賃金の伸び率よりも低く抑えて目減りさせる仕組み。岸田政権は、年金額の引き上げを抑制するため、まず賃金が物価を下回った場合は、低い方の賃金の変動率を年金額の率に用いるというルールを適用。そのうえで「マクロ経済スライド」を2

年連続で発動し、賃金の変動率3.1%増から、さらに0.4%を差し引いて最終の改定率を2.7%増にとどめようとしています。

自公政権は12年の政権復帰後、年金額の伸びを抑制・削減する仕組みを強化し、実質削減を繰り返してきまし。今回の削減を許せば、安倍・菅・岸田3政権の12年間(13~24年度)に、物価は1割も上がっているのに、年金額は3%程度の伸びに抑えられ、実質では7.5~7.8%の目減りとなります。

日本共産党は、「減らない年金」にするために、このマクロ経済スライドの仕組みを廃止した上で、年金財源の確保のため、▽高額所得者優遇の保険料制度の見直し▽巨額の年金積立金の計画的利用▽賃上げと正社員化による保険料収入の増額と加入者拡大――を提案しています。

大幅賃上げで生活と社会を守ろう

18日 共闘会議が春闘学習会 経済再生を

苦小牧市内の労働組合でつくる苦小牧春闘共闘会議(代表 横山傑 苦小牧地苦労連議長)は、今月18日に、春闘学習会を行います。「大幅賃上げで私たちの生活と社会を守ろう」と題し、市内で働く現場から3人のパネラーとともに

参加者のみなさんと一緒に考える参加型の学習会です。テーマは、●大幅賃上げは社会を再生する原動力 ●賃上げを阻んできたシステムを変えよう ●労働組合が強くなると経済は再生する――の3つを用意。一人ひとりが持

生業と暮らしを守るために
インボイス
制度廃止に
日本共産党

2.11 反戦平和集会
旧統一協会からの被害を根絶するために

講師 **内田 信也** 弁護士(入場無料)
◆全国統一協会被害対策弁護団副団長

●2月11日(日) 午後2時
●苦小牧市民会館 205号室

主催: 思想と信教の自由を守る苦小牧市民会議
丸 微代表 Tel 32-4509

つ要求や願いを実現するため、賃金を引き上げ、物価を安定させ社会保障や福祉など生活の安全を再建する道筋を明らかにします。8時間働けば人間らしい生活ができ、将来にも不安のない社会実現のために、春闘勝利のためにどうたたかうべきか考えます。「市民のみなさんどなたでも自由に参加できます」と主催者は呼びかけています。

★ 2月18日(日) 午前10時
アイビープラザ視聴覚室
▼問合せ 苦小牧地区労連
電話 33・3285



命を守る政治を
今こそ

国会かけある記 はたやま和也

北海道行政書士会の賀詞交換会でも、当然のごく話題に。来賓として見られた熊本県の会長さんが「家を失った被災者が、自治体職員に厳しく迫ることもたびたびでした。しかし、その職員も被災者として辛い思いをしています。間に立つ行政書士の役割は大きいのです」と、熊本地震の経

験を話されました。全国から被災自治体へ職員が派遣されたり、日本共産党も現地で救援活動を続けています。助かった命を守りぬくために、国の支援強化を求めたい。あわせて考えなければいけないのは、自治体職員や医療・介護・福祉・保育、消防の職員がそもそも足りない実態です。能登地方だけでなく、こ

これは北海道も同じ現実に直面しています。自民党政権のもとで、公的分野や社会保障が削られてきた結果ではないのでしょうか。胆振東部地震の時も同じ思いをもったし、ケア労働の大事さはコロナ禍で深く学んだはずでした。命を守る政治に変えなければ、つくづく痛感しています。

通常国会が始まりました。裏金について言い訳と責任転嫁ばかりの自民党と岸田首相に、どこでも怒りがわき起こっています。もう力ネと利権まみれの自民党には任せられない、日本共産党ならではの希望の道を。元気に訴えていきます。

畠山和也(はたやま・かずや) 日本共産党元衆議院議員

能登半島地震から1カ月。真冬のなかの厳しい避難生活が報じられるたびに胸を痛める毎日です。日本共産党は引き続き救援金を呼びかけていますので、ご協力をお願いします。



被災者によりそう 被災者によりそう (札幌駅前22日)